

2012 年度報告書（研究員）

氏 名	宮本和歌子
職 位	研究員（短時間）
<p>研究概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸川乱歩「押絵と旅する男」と、泉鏡花「革靴の怪」の関連を追究。 泉鏡花「革靴の怪」とは、大阪平野の大念仏寺に伝わる、幽霊が残したという片袖にまつわる伝承を下敷きに行っていることを検証し、「革靴の怪」中で、革靴に挟まれたままにされた片袖とは、女の強い未練と執着を表しているという解釈が可能であることを説明した。この解釈を踏まえ、手荷物の中に、強い執着心を持つ人間の魂が封じ込められているというモチーフが、江戸川乱歩「押絵と旅する男」に踏襲されていることを説明した。 ・ 夢野久作「瓶詰の地獄」について、現在まで、当然の前提とされている解釈、すなわち、作品に登場する、無人島生活を送る兄妹が犯した罪とは近親相姦である、という認識に、懐疑の余地があることを、新約聖書、旧約聖書の内容と実際に照合することで、論証。 	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>論文 泉鏡花「革靴の怪」と江戸川乱歩「押絵と旅する男」 京都大学大学院文学研究科 国語学国文学研究室編 『国文学論叢』第29号 2013年3月下旬刊 （再校済）</p> <p>その他 2012年3月和泉書院より刊行の『江戸川乱歩作品論 ―一人二役の世界』が、第66回日本推理作家協会賞 評論・その他の部門賞候補作として選出される。（マスコミ等への発表は4月初旬頃）</p>	